

## 平成29年度・第25回総会開催

# 異業種の協働に新たな文化が生まれる

信州名匠会（土本俊和会長）は6月29日、平成29年度（第25回）通常総会と講演会を長野市のホテル犀北館で46人が参加して開催した。総会では、28年度事業・会計報告、29年度事業計画・予算などを承認した。

総会の冒頭、土本会長（信州大学教授）は、「若い世代へ技術や精神の継承」の重要性を呼びかけた。

総会後には京都工芸繊維大学の矢ヶ崎善太郎准教授を講師に迎え、「茶室建築の技と知恵」をテーマに講演会を開いた。名匠会の会員だけでなく、講演を聴きに訪れた20名を超えるJIA長野県クラブの建築家や建築関係者らの高い関心を集めていた。



会員や来賓などが参加して開かれた総会

## 平成29年度通常総会 講演会

# 「茶室建築の技と知恵」

京都工芸繊維大学 准教授  
矢ヶ崎善太郎氏

総会で毎年行われる講演では、京都工芸繊維大学の矢ヶ崎善太郎准教授が「茶室建築の技と知恵」というテーマで登壇した。

矢ヶ崎氏は講演の冒頭、茶室を「茶会を行うための施設であり、茶室という建築と、茶室に至るまでの道すがらである露地といわれる庭から成り立っている」ものだと定義。「茶室とい



講演する矢ヶ崎氏

う語は、近世初期に存在していたが、普及するのは近世後期以降のことで、それまでは「茶の湯座敷」や「数寄座敷」あるいは『小座敷』と呼ばれていた。ここで使われる『数寄』や「小座敷」の語は、風流や風雅、非日常を志向するものだ」と語った。

特に草庵茶室について「儀礼化した格式的な殿中の茶とは異

なり、寄合の伝統を基礎とした人間的交流、集いを指したものであり、「まちにいながらあたたか山住まいをしている隠者のような境遇、自然と同化する環境への憧れ」があることを指摘。隠者や隠遁者の境遇への憧れが、非日常の「設え」に表れているといい、なぜ茶室の基本が四畳半なのかを考えるキーワードがここにあるとした。

矢ヶ崎氏は、草庵茶室について建築の面から「書院座敷のような格式ある座敷を美しくやつし、崩すことによって侘び茶にふさわしい茶室を形成している」と話すと、「千利休によって成立したこの侘び茶は、縁をなくし土間と座が直結するといったこれまでにない建築を生んだ」とし「縁がなくなり、軒下まで飛び石が進出し、土間庇という独特の景が生まれた」と語る。これによって「大工の仕事と庭師の仕事が出会い、異業種が協働する場が生まれ、これまでにない意匠が展開した」という矢ヶ崎氏は、「名匠会のみなさんとも関係ある話ですね」と語り、会場を和ませた。

縁の解体と土間庇の出現について、矢ヶ崎氏はさらに「縁とは緩衝空間であり、外と内を分けるもの。これを取り払うことで、権威を表現し格差を付ける場所を解体し、見栄を取り払った。つまり茶室は日常とは違う空間だった」と解説。「縁を取ったので、くぐり戸、すなわちじり口をつくった。新たな建築様式につながった」と話した。

こうした茶室をつくってきた大工の技のなかでも、矢ヶ崎氏が注目するのは「写し」と「移し」だ。つまり移築・増築・修築のことで、矢ヶ崎氏は「海外には解体修理はない。日本建築が持つ『仮設性』『臨時性』だ」という。またそのために「上をそそうに、下を律儀に」という、「いかに工夫を見せないか」に気を配る数寄屋大工の覚悟についても語ると、「茶室には、都市のなかでの自然と共生するための環境づくりと、建築を使い続ける技と知恵がある。後世の人によって手が加えられ、由緒を集結することで価値を高めていく。日本建築の技術は、使い続けるための知恵の結集だ」とまとめた。



会員、JIA 長野県クラブをはじめ 69 人が熱心に聴講した



講演中に映写された画像の一つ

## 平成29年度 年間スケジュール

A 会員集会・委員会 B 学習・見学・実習  
C 交流 カッコ内は担当委員会

### 平成 29 年

- 6月29日(木) 第25回通常総会・講演会・懇親会(総務)
- 7月22日(土) 第1回研修会A・C(総務・事業技術委)
- 8月22日(火) 親睦スポーツ大会C(会員)
- 9月27日(水) 第2回研修会B(事業技術)
- 10月14日(土)～10月15日(日)  
研修旅行B・C(事業技術。協力:総務・会員)
- 11月15日(水) 第3回研修会A・C(総務・会員)
- 12月20日(水) 第4回研修会B(事業技術)

### 平成 30 年

- 1月17日(水) 新年会C(会員)
- 2月21日(水) 第5回研修会A・B(総務・事業技術)
- 3月28日(水) 第6回研修会B(事業技術)
- 4月14日(土) 第7回研修会「お花見」C(会員)
- 5月23日(水) 第8回研修会A・C(総務・会員)
- 6月27日(水) 平成29年度 通常総会(総務)

※ 研修会 場所:基本会場(株)宮本忠長建築設計事務所  
第2会場(株)降幡建築設計事務所  
時間:18:30～20:30

※ 研修内容・場所・日時については決定次第順次お知らせいたします。

## 陶芸教室の作品を展示

総会の会場では、平成28年度第7回研修会「松代新御殿・旧文武学校見学・お花見・陶芸教室」(4月15日)に参加した18名の陶芸作品が展示された。故・村越久子先生の雪しろ窯で長年続いた陶芸教室を引き継ぎ、松代での開催は3年目となる。茶碗や湯飲みをはじめ様々な個性あふれる作品の出来栄を、会員みんなで観賞した。



## 二十七ツ星 1名、二十六ツ星 1名など 24名の新認定者が誕生 ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。新規認定者24名（認定者総数59名）が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

### ◆「スリースター制度」平成28年度新規認定者

（平成29年6月現在、五十音順、敬称略。紙幅の関係で新規認定者のみ掲載いたします）

☆☆☆二十七ツ星 1名☆☆☆  
坂田 守夫／坂田工業（株）

☆☆☆二十六ツ星 1名☆☆☆  
西澤 嘉雄／（有）エヌ設計

☆☆☆二十五ツ星 1名☆☆☆  
堀 誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆十九ツ星 1名☆☆☆  
五明 良平／（株）五明

☆☆☆十八ツ星 1名☆☆☆  
中村 光敬／（有）中村木工所

☆☆☆十七ツ星 1名☆☆☆  
西澤 広智／（株）宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆十六ツ星 1名☆☆☆  
吉田 雅彦／（有）スタジオスペースツー

☆☆☆十五ツ星 1名☆☆☆  
白石 大陸／サンコー特機（株）

☆☆☆十四ツ星 2名☆☆☆  
鎌倉 良収／（株）鎌倉材木店  
犬飼 栄治／（株）シナノ大理石

☆☆☆十二ツ星 1名☆☆☆  
岩井 秀樹／岩井工業（株）  
☆☆☆十一ツ星 1名☆☆☆  
山本 耕平／長野サウナ販売（株）

☆☆☆十ツ星 2名☆☆☆  
久保 敏幸／（株）さつき苑  
樋口 豊／（株）ライフエンジニアリング

☆☆☆九ツ星 1名☆☆☆  
竹内 公夫／（株）ビホームテクノクリエイター

☆☆☆八ツ星 1名☆☆☆  
米田 満／（株）山二

☆☆☆七ツ星 1名☆☆☆  
降幡 廣信／（株）降幡建築設計事務所

☆☆☆六ツ星 1名☆☆☆  
田中 謙一／（株）角藤 長野本部

☆☆☆三ツ星 1名☆☆☆  
山崎 慎一郎／（株）山崎屋木工製作所

☆☆☆二ツ星 4名☆☆☆  
小坂 浩一／小坂建設（株）  
酒井 真一／（株）新建新聞社  
笠原 佑晃／（株）二見屋  
祢津 吉通／（株）ミツルヤ製作所

## 平成28年度 事業報告（人数は参加者）

### 平成28年

6月27日（月）第24回通常総会・講演会・懇親会 69名  
「たぐみ」No40夏号発行  
7月23日（土）第1回研修会「軽井沢発地市場」見学会 28名  
8月31日（水）親睦ゴルフ大会 長野カントリークラブ 13名  
9月21日（木）平成28年度第1回理事会「平成28年度研修旅行について」 11名  
9月28日（木）第2回研修会「リレートーク（石工事）」犬飼栄治氏 24名  
10月22日（土）～23日（日）研修旅行「美しい自然と建築の息づく町 富山・高岡探訪」 25名  
11月19日（土）「蚕都上田」見学会 22名  
12月21日（水）第4回研修会「リレートーク（鋼製建具・大型移動間仕切）」米田満氏 17名

### 平成29年

1月18日（水）新年会 ホテル犀北館 30名  
1月18日（水）「たぐみ」No39新春号 発行  
2月22日（水）5回研修会「リレートーク（左官工事）」宮内計臣氏 29名  
3月29日（水）第6回研修会「リレートーク（木製サッシュ・木製家具）」山崎慎一郎氏 27名  
4月6日（木）平成28年度第2回理事会「平成29年度信州名匠会総会について」 9名  
4月15日（土）第7回研修会「松代のお花見・見学・陶芸教室」 17名  
5月20日（土）第8回研修会「三原屋・旧長野県庁煉瓦書庫」見学会 24名

## 平成28年度 会計報告書

自：平成28年6月1日／至：平成29年5月31日

## 会員の動向 (平成28年6月～平成29年6月。敬称略)

- 入会 個人会員 ■ 笠原 晃祐 / 屋根 / (株)二見屋 / 長野市稲里田牧190 / 026-284-3113  
高梨 友秀 / 大工 / (株)高梨建設 / 長野市三輪2-30-22 / 026-241-3603
- 担当者の変更 賛助会員 ■ (株)トライアン 前任) 大庭 修 新任) 松橋 幹生
- 退会 個人会員 ■ 山口 真一郎 / (株)サンワ  
石田 義章 / (株)石田組
- 逝去 個人会員 ■ 鈴木 隆 / ルームデザインハウス
- 逝去 元個人会員 ■ 高梨 廣男 / (株)高梨建設

## 懇親ゴルフコンペ 増田幸雄氏が初優勝

スポーツを通じ会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが、8月22日、長野カントリークラブで13人が参加して行われた。連日雨が降り天候が心配されたが、大した雨も降らず、仕事を忘れ和気あいあいゴルフを楽しんだ。

増田幸雄氏(匠建設)が、名匠会ゴルフコンペで見事、初優勝をされた。今回初出場の、小坂浩一氏が3位。初出場で、生涯2回目のゴルフという宮本夏樹氏が、ドラゴン賞を取るなど活躍された。

プレー後のパーティーでは、坂田専務理事から各賞が渡され、ベテランから若手までプレーを振り返りながら、親睦を深めるひとときになった。



参加者は次の通り(順不同、敬称略)

坂田守夫 / 坂田工業(株)、黒澤忠 / クロサワメタル(株)、宮本夏樹 / (株)宮本忠長建築設計事務所、水沢仁亮 / (株)二見屋、五味沢拓朗 / (株)角藤、荒井孝明 / (株)本久、増田幸雄 / 匠建設(株)、西宮登喜男 / (株)綿内瓦工業、落合一視 / 落合コンサルタント、鎌倉良収 / (株)鎌倉木材、西澤広智 / (株)宮本忠長建築設計事務所、吉田雅彦 / (有)スタジオスペースツー、小坂浩一 / 小坂建設(株)

## 宮本忠長展「五十二年の軌跡」 小布施で開催される

平成28年2月に逝去された宮本忠長当会名誉会長をしのぶ「宮本忠長展一五十二年の軌跡」が、長野県建築士会の主催で10月28日(土)と29日(日)の両日、小布施町北斎ホールで開催された。52年にわたる建築家人生で作成した作品のドローイングやパース・膨大なスケッチ等を展示した。

初日、市村良三小布施町町長ら関係者によるテープカットから始まり、午後は宮本忠長名誉会長をよく知る建築家・内藤廣先生の「地の塩」と題しての基調講演が行われた。引き続き、当会の土本俊和会長、市村次夫顧問両氏が加わってパネルディスカッションが行われ、宮本忠長名誉会長の建築に対する姿勢や考え方が、各パネラーの視点で語られた。

あいにくの台風による荒天にもかかわらず、両日合わせて620名を超える方々が訪れた。当会の会員も多数訪れ、忙しい中、毎日のように描かれた絵日記の膨大な絵と言葉に触れ、日々精進を貫いた建築家宮本忠長の偉大さに感動の言葉を発し、思い出話に花を咲かせた。

平成30年2月17日(土)と18日(日)、松本市美術館で同様の宮本忠長展がJIA長野県クラブの主催で開催される。



宮本忠長氏が設計した北斎ホールの玄関前でテープカット



宮本忠長展の展示風景



# 定例研修会●Report

(平成29年5月～11月)

## 平成28年度 第9回研修会 【旧長野県県庁煉瓦倉庫と 三原屋を見学】

平成29年5月20日(土)

講師：(株)三原屋 代表取締役 河原清隆氏  
(株)宮本忠長建築設計事務所 設計監理主管 嶋本耕三氏  
参加者：25名

### 長野市内の2つの登録文化財を見学

5月の研修会では、土本俊和会長が監修し、宮本忠長建築設計事務所 で設計監理をしている旧長野県県庁煉瓦倉庫(信州大学教育学部内)と、古くからの善光寺門前の味噌屋である三原屋を訪れた。いずれも登録文化財だ。

三原屋の170年続く味噌醤油蔵は、店舗と醸造蔵が国の有形文化財に登録されている。見学者一行は築百数十年を誇る店舗のなかに入り、馬車がそのまま入って荷物を降ろせるように工夫された、蔵元ならではのつくりを見るとともに、5代目当主となる河原氏から昔の蔵の営みや門前の町並みについて話を聞いた。

そこから信州大学教育学部の旧長野県県庁煉瓦倉庫に移動。小規模な建物ながら、炭素繊維を使った耐震補強や、音響の良さを生かして音楽室として使うといった工夫を見学した。当日は足場を使って屋根に登ることができ、一行は瓦の葺き替え工程を見学した。

古い建築が伝える昔と今、そして耐震補強など新たな技術と、昔・今・これからを見学した初夏の1日となった。



三原屋の醸造蔵



旧長野県県庁煉瓦倉庫の内部を見学

## 平成29年度 第1回研修会 【松田家保存整備事業見学会】

平成29年7月22日(土)

講師：千曲市文化財センター所長 矢島宏雄氏  
：(有)N設計代表取締役所長 西澤嘉雄氏  
参加者：18名

### 県宝指定の松田家を見学

今年度1回目の研修会は、千曲市八幡の松田家の見学をした。松田家は、中世の武士の館だったものが神主の屋敷として現代に残っている珍しいケースで、2004年に県宝に指定されている。

松田家では、中世の居館跡をほうふつとする堀や土塁、1万数千点の古文書、書画、什器などの維持管理のために、2005年度から保存整備事業を行っている。全体を博物館として整備するため、建物の傷んだ部分だけを改修・交換する手法が用いられている。

当日は千曲市歴史文化財センターの矢島宏雄所長が参加し、「戦国時代の武士の館が神主の屋敷として現代に残っているのは無類」だと説明した。

このほか、神社の祭りに参加した県知事を接待するためにつくられた「新座敷」、県宝の「主屋」、棟木に寛政6年(1794年)の墨書きがある「味噌蔵」、裏庭にある「おたや」「隠居部屋」などを見学した。



矢島所長、西澤所長のお話を聞く



主屋屋根 茅葺・瓦・銅板葺。すべて名匠会の職人が関わった

講師を務めたN設計の西澤嘉雄所長は、「建物の中にある歴史的文化、地域の食文化、生活的な文化、瓦・建具・石・壁塗りなどの建築的な文化を残すための事業に名匠会として携われて良い勉強になった」と語った。

この見学会から2か月足らずの9月6日午後7時前、「松田家住宅主屋」と「松田家斎館」から火が出て、全焼した。痛恨の極みである。

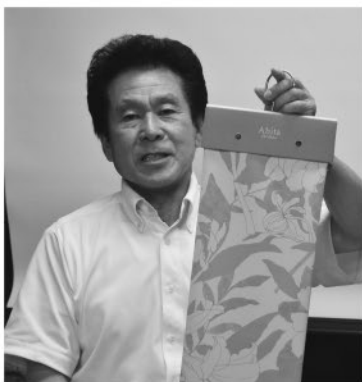
## 平成29年度 第2回研修会 信州名匠会リレートーク VOL.16 【カーテンは部屋の雰囲気 を一変させる】

平成29年9月27日（水）

講師：山田一忠氏（インテリア販売ヤマダ）

参加者：24名

山田一忠氏は、約30種類のカーテンやブラインドなどを並べて、一つ一つの特徴や活用事例を紹介した。カーテンについて「今まで2倍ヒダにこだわってきた」という山田氏。「多少縮んだとしても生地に余裕があって長持ちする」ためだが、生地の量が多くなり



カーテンの役割と魅力を語る山田氏

費用が高くなるデメリットがある。「だから勧めはするが、お客さんの予算に応じて提案は変える。生地の量など応用できる点、工夫できる点がカーテンの面白いところ」だという。

また、山田氏はカーテンレールとフックが重要だとし、「レールが良いとカーテンがスムーズに動くため、破けたり裂けたりすることがなく、長く使用することができる」とメリットを説明。しかし「こだわっているユーザーは少ない」と笑う。

最後に山田氏は「私はコーディネーターなので、お客さんに対してカタログだけで提案はしない。実際に商品を持ってお客さんの家に行き、家の雰囲気やニーズを確認してから提



商品の実物に触れながら山田氏の話聴いた

案し、選んでもらうことが大切」と話し、「カーテンは部屋の雰囲気を一変させることができる。部屋の中で広い面積を占めるため、生活に潤いを与えるものだ」と語った。

## 平成29年度 第3回研修会 【朝日村庁舎の見学会】

平成29年11月25日（土）

講師：（株）宮本忠長建築設計事務所 江口大輝氏

：（株）倉橋建築計画事務所 倉橋美有希氏

参加者：26名

### 大規模木造に匠が注目

今年度3回目となる研修会は、宮本・倉橋設計共同企業体で設計監理を行っている朝日村の新庁舎建設工場の現場を見学した。新庁舎は、村産材であるカラマツやヒノキなどが多く利用され、大規模木造庁舎として注目されている。

講師を務めた宮本忠長建築設計事務所の江口氏は、執務室と交流ホールについてカラマツの集成材の登梁により自由度の高い空間としていることや、村長の意向により建立した2本の象徴木を紹介した。



カラマツの集成材の登梁により自由度の高い空間が実現している

ほかにも、建物が日照や自然通風を取り入れやすいL型の配置になっていることや省エネルギー対策として地中熱を利用することなどの庁舎の特徴を説明した。

執務室、交流ホール、売店エリアを見学した参加者たちは、珍しい木造庁舎のため、いつも以上に写真を数多く撮影していた。



村長の意向により建立した2本の象徴木の1本